

## 4年—Unit 6 単元名 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう

## 1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・相手に配慮しながら, アルファベットの文字について伝え合おうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

## 2. 言語材料

- Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a "b")? Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.
- 小文字 (a~z), letter, try, again, bookstore, juice, news, school, station, taxi, telephone  
[既出] What do you want? up, down, left, right, look, shop, 数 (1~60), 大文字 (A~Z), 身の回りの物など

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に, どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて, 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき, 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○これは何かな。 ・指導者の質問に答える。 ・大文字の読み方を思い出して言う。</p> <p>○どこにあるかな。 ・誌面から, さまざまな文字, 看板を見つけて発表する。 ・指導者が言う文字を探して発表する。 【Let's Watch and Think】 p.22 ・身の回りにある看板や表示を見て, アルファベットの小文字を知る。 【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音楽に合わせて歌う。</p> <p>○ポインティング・ゲーム ・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。</p> <p>○ミッシング・ゲーム 【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行うが, 評価の記録は残さない。次時に合わせて, 小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。</p>
2	<p>◆活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23 【Let's Play 1】 アルファベットさがしをしよう。 p.23 ・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。</p>	

	<p><b>【Let's Play 2】おはじきゲーム p.23</b>          ・誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。</p> <p>○マッピング・ゲーム          ・大文字と小文字を対応させる。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。</p> <p><b>【Let's Sing】ABC Song p.23</b>  <b>【Let's Chant】Alphabet Chant p.23</b></p> <p>○BINGO ゲーム  <b>【Let's Listen】p.24</b>          ・児童用テキスト p.22, 23 を見ながら、指導者が出す Who am I? Quiz を聞いて、それがどの看板か表示かを考えて答える。          ・次に、児童用テキスト p.24 で Let's Listen の音声を聞いて、誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を口に記入する。</p> <p>○アルファベット文字クイズ          ・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。</p> <p><b>【Let's Chant】Alphabet Chant p.23</b>  <b>【Activity 1】p.25</b>          ・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。</p> <p><b>【Activity 2】p.25</b>          ・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

## 4年 Unit 6—Lesson 1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 1/4時間

**目 標** 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

**準 備** 児童用テキスト、身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真、教師用カード（大文字・小文字）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
22分	<p>○これは何かな。</p> <p>・指導者の質問に答える。</p> <p>・大文字の読み方を思い出して言う。</p> <p>○どこにあるかな。</p> <p>・誌面から、さまざまな文字、看板を見つけて発表する。</p> <p>・指導者が言う文字を探して発表する。</p> <p><b>【Let's Watch and Think】</b> p.22</p> <p>・身の回りにある看板や表示を見て、アルファベットの小文字を知る。</p>	<p>・指導者はあらかじめ児童の身の回りや地域にある、大文字で表示されたロゴや標識、アニメなどのキャラクター名などが書かれたものやその写真、お菓子の箱にあるラベルなどを用意しておく。</p> <p>・まず、黒板にそれらのアルファベットの大文字をゆつくり書き、児童にそれらが何かを尋ねる。</p> <p>例：KOBAN, P, 駅名, 地名看板, NHK, TEL 等</p> <p>・身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付かせるのがねらいである。児童と確認しながら大文字カードを黒板に掲示する。また、児童の持ち物などからもアルファベットの文字で記されているものを探させる中で、すでに3年生時に学習したローマ字で扱った小文字の存在にも気付かせるようにする。</p> <p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p> <p>・児童用テキスト p.22, 23 を開かせ、どのような文字があるかを発表させる。文字の名称を言い、それがどこにあるか探させる。また、活字体以外の筆記体に気付かせ、次の活動につなげる。</p> <p>・前活動を生かして、映像資料を視聴させ、音声と一緒に文字の読み方（名称）を言うよう促す。</p>	<p>身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真</p> <p>教師用カード（大文字・小文字）</p> <p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>
<p>① A : Look! What is that sign? B : Which one? How many letters? A : Six letters, well, P-O-L-I-C-E. B : Oh, that's the police box.</p> <p>② A : Look! What's that display? B-O-O-K-S-T-O-R-E. B : Oh, that's the bookstore. A : Really? I like books. Let's go to the bookstore.</p> <p>③ A : Hurry up! I want to catch a taxi. B : Then, please find a car with a T-A-X-I sign on it. A : T-A-X-I, taxi! I got it.</p> <p>④ A : Look, what is "P" on that building? B : Oh, a big green "P"? A : Yes. B : "P" is a "parking."</p> <p>⑤ A : Let's meet at the bus stop at nine, OK? B : Sorry, please repeat that. A : Let's meet at the bus stop, B-U-S S-T-O-P. B : I see, let's meet at the bus stop at nine. See you.</p>			
3分	<p><b>【Let's Sing】</b> ABC Song p.23</p> <p>・音楽に合わせて歌う。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・zはイギリス英語とアメリカ英語では読み方が異なることに触れる。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>教師用カード（小文字）</p>

		a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.	
10分	<p>○ポインティング・ゲーム</p> <p>・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。</p> <p>○ミッシング・ゲーム</p>	<p>・児童用テキスト p.22, 23 の周りにある小文字を使って、ポインティング・ゲームをする。</p> <p>・文字の名称を言う, あるいはデジタル教材を使って名称を聞かせてもよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字)
<p><b>ミッシング・ゲームの進め方</b></p> <p>・1～8枚の教師用カード(小文字)を児童とその読み方を確認しながら黒板に掲示する。全てのカードの読み方を再度、児童と確認しながら外し、指導者はその中から1枚カードを除く。取り除いたカード以外を再度黒板に掲示しながら児童と一緒に読み方を確認していく。最後に、児童が黒板にないカードが何かを考えて言う。隠すカードは1枚から始め4枚程度(実態に応じて)にするとよい。</p> <p>・初めは、f, g, h, i, j, k, l, m などのようにアルファベット順の連続した文字を選択し、児童が慣れてきたら、アトランダムに文字を選択するとよい。</p> <p>・黒板にカードを掲示してから児童に目を閉じさせ、指導者がカードを1～4枚抜き、児童に目を開けさせ、隠されたカードが何かを児童に考えさせて発表させる方法もある。</p>			
3分	<p><b>【Let's Chant】Alphabet Chant</b></p> <p>p.23</p>	<p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z.</p> <p>② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p> <p>③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	<p>・児童と一緒に言う。</p> <p>デジタル教材 教師用カード (小文字)</p>
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</p> <p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行すが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。

4年 Unit 6—Lesson 2    Alphabet    アルファベットで文字遊びをしよう    2/4 時間
目 標 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。
準 備 児童用テキスト, 教師用カード (大文字・小文字), 児童用カード (大文字・小文字), デジタル教材, おはじき, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動    ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	<p><b>【Let's Sing】 ABC Song p.23</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z.            Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.         </div> <p><b>【Let's Chant】 Alphabet Chant p.23</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z.            ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.            ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.         </div>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから, チャンツを児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材 教師用カード (小文字)
15分	<p><b>【Let's Play 1】 アルファベットさがしをしよう。 p.23</b></p> <p>・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。</p> <p><b>【Let's Play 2】 おはじきゲーム p.23</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>進め方</b></p> <p>・児童は自分のテキストの誌面にあるアルファベットの小文字から5つ選んで, その上におはじきを置く。指導者は, 26枚の教師用カード(小文字)から10枚選んで持ち, 児童にはどの文字かは見せない。</p> <p>・児童が, Do you have ~? と尋ね, 指導者が Yes, I do. I have ~./No, I don't. Sorry. と答え, 指導者が持っているアルファベットにおはじきを置いていたら, そのおはじきを取る。おはじきがなくなった人があがり。</p> </div>	<p>・誌面 p.22, 23 を開かせ, 指導者が言ったり, デジタル教材を聞かせたりして, アルファベットの文字を探させる。慣れてきたら, 出題者を児童にしてもよい。</p> <p>・デモンストレーションをして, 進め方を理解させる。</p> <p>◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。&lt;行動観察・振り返りカード点検&gt;</p>	デジタル教材 児童用テキスト  おはじき 教師用カード (小文字)
20分	<p><b>○マッチング・ゲーム</b></p> <p>・大文字と小文字を対応させる。</p>	<p>・教師用カード(大文字)を黒板にアルファベット順に並べながら, 児童と一緒にその名称を言う。</p> <p>・教師用カード(小文字)を大文字の下に並べながら, 児童と一緒にその名称を言う。</p> <p>・次に, 児童の実態に応じて, 次の活動をペアやグループで行う。個別に支援をする。</p>	教師用カード (大文字・小文字) 児童用カード (大文字・小文字)

	<p><b>マッチング・ゲームの進め方</b></p> <p>(方法1) 児童はペアで児童用カードの大文字1セット, 小文字1セットずつ用意し, すべてをシャッフルする。指導者の合図で, ペアで協力してそれらを大文字・小文字に分類してアルファベット順に並べる。</p> <p>(方法2) 児童のペア (A, B) で, シャッフルされた大文字・小文字カードから 10 枚ずつ相手に見えないように持つ。残りのカードは, 文字を下にして中央に束にしておく。手持ちのカードで大文字・小文字のペアがそろえば出す。相手と次のようなやり取りをして, 大文字・小文字のペアをそろえて出し, 手持ちのカードがなくなったほうが勝ち。</p> <p>A: Do you have a “b”?</p> <p>B: Yes, I do. Here you are. (Aは手持ち「B」カードと合わせて, 出す。Bは束から1枚取る)</p> <p>B: Do you have a “c”?</p> <p>A: No, I don't. Sorry. (Bは束から1枚取る)</p>	<p>◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</li> <li>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>

4年 Unit 6—Lesson 3	Alphabet	アルファベットで文字遊びをしよう	3/4時間
目 標 身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。			
準 備 児童用テキスト, 教師用カード (小文字), 児童用カード (小文字), ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート), 身の回りの物など, デジタル教材, 振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材
4分	<p><b>【Let's Sing】 ABC Song p.23</b></p> <p>a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z. Happy, happy, I'm happy. I can sing my abc.</p> <p><b>【Let's Chant】 Alphabet Chant</b></p> <p>p.23</p> <p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z. ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z. ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	・児童と一緒に歌ったり, 言ったりする。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
10分	<p><b>OBINGO ゲーム</b></p> <p><b>BINGO ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は自分の小文字カードから 16 枚選び, ビンゴシート縦4×横4に並べ, ビンゴシートを作る。</li> <li>・指導者は 26 枚の小文字カードから 10 枚選び, 文字を児童に見せないように持つ。</li> <li>・児童が Do you have ~? で尋ね, 指導者が Yes, I do. I have ~. と答えたアルファベット小文字カードを持っていれば, そのカードを裏返す。指導者は, 尋ねられたアルファベット小文字カードを持っていなければ, No, I don't. と答える。</li> <li>・縦, 横, 斜めの 1 列のカードが裏返れば, ビンゴとなる。</li> </ul>		教師用カード (小文字) 児童用カード (小文字) ワークシート (Unit 1-2, 1-3 : ビンゴシート)
9分	<p><b>【Let's Listen】 p.24</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用テキスト p.22, 23 を見ながら, 指導者が出す Who am I? Quiz を聞いて, それがどの看板や表示かを考えて答える。</li> <li>・次に, 児童用テキスト p.24 で Let's Listen の音声を聞いて, 誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用テキスト p.22, 23 で Who am I? Quiz をすることを告げる。</li> <li>・Let's Listen の音声を聞かせる前に, 児童の実態に応じて, 指導者が簡単なクイズを出して, 児童が答えの見つけ方を理解できるようにする。</li> <li>・Let's Listen の 1 問目は, 1 文ずつ止めて聞かせたりするなど, 児童が「分かった」という達成感をもてるように聞かせ方を工夫する。</li> <li>・児童の実態に応じて, このクイズを参考に児童用テキスト p.22, 23 の街全体で同様の活動を行う。</li> </ul>	児童用テキスト デジタル教材
	<p>No. 1: I have four letters. I have a "T" and an "X." Who am I? (TAXI)</p> <p>No. 2: I have a "T" and three "e"s. My sound begins with [tel]. Who am I? (Telephone)</p> <p>No. 3: I have two "t"s. I have an "a" and I have an "i." I have seven letters. Who am I? (Station)</p> <p>No. 4: I have two "s"s and I have a "B." I have seven letters and I have two words. Who am I? (Bus Stop)</p> <p>No. 5: I have six letters and I have two words. I have a "U" and a "D." Who am I? (UP / DOWN)</p>		
	<p><b>○アルファベット文字クイズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動の進め方を参考に, 誌面 p.22, 23 にある表示や身の回りにある表示について, ペアでヒントを出したり, ヒントを聞いてそれが何かを答えたりするよう告げる。</li> </ul>	身の回りの物など

15分	<p><b>アルファベット文字クイズの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになり，各自が誌面 p.22, 23 の看板や表示のなかから1つ選ぶ。あるいは，身の回りの物にあるアルファベット文字表示から1つ選ぶ。</li> <li>・ペアの相手に，I have four letters. I have a “T” and an “X”. などと Let’s Listen と同じ流れで伝え，相手はそれをヒントにどの看板や表示かを考えて答える。身の回りの物について出題する場合には，文字以外に色，カテゴリーなどのヒントも出すようにする。</li> </ul>	<p>◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</li> <li>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード デジタル教材</p>



## 4年 Unit 6—Lesson 4 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 4/4時間

目 標 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード (小文字)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ③評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
1分	<p><b>【Let's Chant】Alphabet Chant p.23</b></p> <p>① abcdefg, hijklmn, opqrstu, v, w, x, y, z.            ② abc, abc, abcdefg, hij, hij, hijklmn, opq, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.            ③ ab, abc, abcdefg, hi, hij, hijklmn, op, opq, opqrstu, v, w, x, y, z.</p>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
10分	<p><b>【Activity 1】 p.25</b></p> <p>・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。</p> <p><b>進め方</b></p> <p>・ペア (A と B) になり、A は誌面にある5つの表示から1つ選ぶ。            ・B が Do you have a ~ ? と尋ね、A は選んだ表示にその文字が含まれているかどうかを Yes, I do. / No, I don't. で返答する。            ・B はその答えから A が選んだ表示が何かを考えて答える。            ・ペアの相手を替えて数回行う。            ・児童の実態に応じて、児童用テキスト p.22, 23 の表示などで行ってもよい。</p> <p>あやめ : What is my sign?                      れん : Do you have an "S" ?            あやめ : Yes, I do. I have an "S."           れん : Do you have a "C" ?            あやめ : No, I don't. I don't have a "C."   れん : Do you have an "N" ?            あやめ : Yes, I do. I have an "N."           れん : I got it!            あやめ : Ren, what is my sign?               れん : It's "NEWS."            あやめ : That's right. My sign is "NEWS."   先生 : Ren, great!</p>	<p>・代表児童に1つの表示を選ばせ、指導者が Do you have a ~ ? と尋ねる。他の児童にも一緒に質問するように促しながら、進め方を理解させる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字)
27分	<p><b>【Activity 2】 p.25</b></p> <p>・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。</p>	<p>・Activity 1 と同様の進め方で、好きな色を題材にして行う。            ・デジタル教材で登場人物の「あやめ」と「れん」のやり取りのモデルを聞かせてから行うとよい。            ・難易度を上げるために、当てる側の質問回数を2回までとするなど、児童がより意欲をもって尋ね合うことができるように児童の実態に合わせてルールを工夫する。            ・相手を替えて何度も繰り返すために、それぞれの色が好きな友達を見つけるよう呼びかけるなど、児童が意欲的に伝え合うことができるようにする。            ・途中で活動を止め中間評価を行い、よいやり取りをしているペアにやり取りを再現させ、学級全体でよいところを確認するなどして、後半の活動がよりねらいに沿ったものになるようにする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>あやめ：What's my favorite color? Please guess.</p> <p>あやめ：No, I don't. I don't have a "w." あやめ：No, I don't. I don't have a "p." あやめ：No, I don't. I don't have an "r." あやめ：Yes, I do. I have a "b." あやめ：Yes, I do. I have an "e." あやめ：That's right. I like blue.</p> <p>れん：OK. Do you have a "w"? れん：Do you have a "p"? れん：Do you have an "r"? れん：Umm. Do you have a "b"? れん：Wow! Do you have an "e"? れん：I got it. "Blue."</p>		
		<p>◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について 伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> <li>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p> <p>デジタル教材</p>